

最近の管内経済概況

(2023年12月の経済指標を中心として)

～ 緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、

○生産活動は、一進一退の動きとなっている。

○個人消費は、緩やかに改善している。

○観光は、改善している。

○公共工事は、増加した。

○住宅建設は、弱い動きとなっている。

○民間設備投資は、増加している。

○雇用動向は、弱含んでいる。

○企業倒産は、件数、負債総額とも増加した。

全体として、管内経済は、緩やかに持ち直している。

なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2024年2月19日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : bz1-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

管内経済概況判断の推移

(2024年2月現在)

| 発表月 | 2023年9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 2024年1月 | 2月 | 前月との判断比較 |
|--------|---------------------------|--------------------|-----------------|---------------|---------------|-----------------------------|----------|
| 総括判断 | <u>緩やかに持ち直している</u> (↗) | 緩やかに持ち直している | 緩やかに持ち直している | 緩やかに持ち直している | 緩やかに持ち直している | 緩やかに持ち直している | |
| 生産活動 | 弱い動きとなっている | 弱い動きとなっている | 弱い動きとなっている | 弱い動きとなっている | 弱い動きとなっている | <u>一進一退の動きとなっている</u> (↗) | |
| 個人消費 | <u>緩やかに改善している</u> (↗) | 緩やかに改善している | 緩やかに改善している | 緩やかに改善している | 緩やかに改善している | 緩やかに改善している | |
| 観光 | 改善している | 改善している | 改善している | 改善している | 改善している | 改善している | |
| 公共工事 | <u>減少した</u> (↘) | <u>増加した</u> (↗) | 増加した | 増加した | 増加した | 増加した | |
| 住宅建設 | <u>弱い動きとなっている</u> (↘) | 弱い動きとなっている | 弱い動きとなっている | 弱い動きとなっている | 弱い動きとなっている | 弱い動きとなっている | |
| 民間設備投資 | 増加している | 増加している | 増加している | 増加している | 増加している | 増加している | |
| 雇用動向 | 弱含んでいる | 弱含んでいる | 弱含んでいる | 弱含んでいる | 弱含んでいる | 弱含んでいる | |
| 企業倒産 | 件数、負債総額とも増加した | 件数、負債総額とも増加した | 件数は減少、負債総額は増加した | 件数、負債総額とも増加した | 件数、負債総額とも増加した | 件数、負債総額とも増加した | |

注：下線部は、前月から判断を変更した部分。

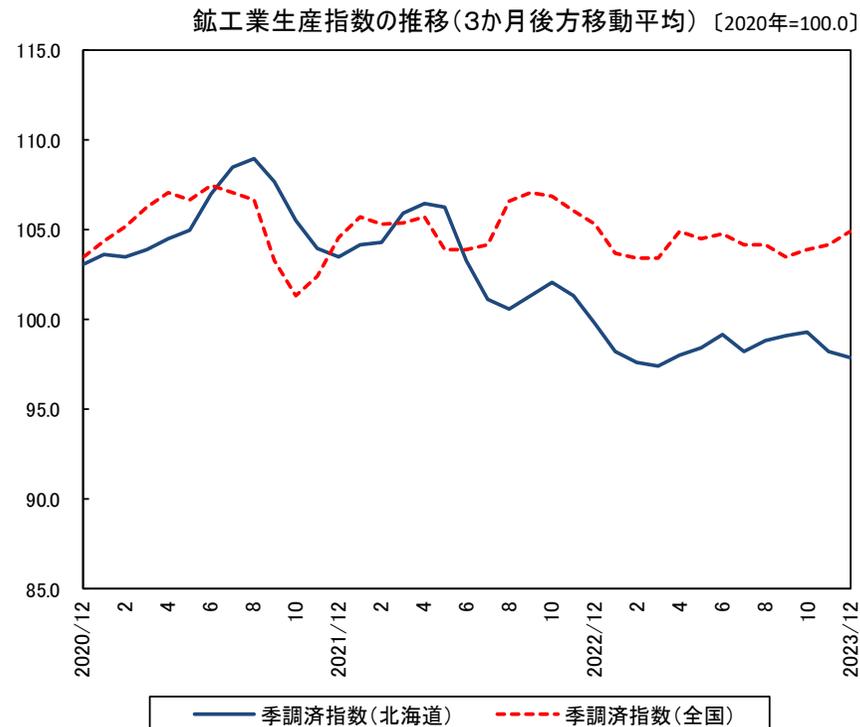
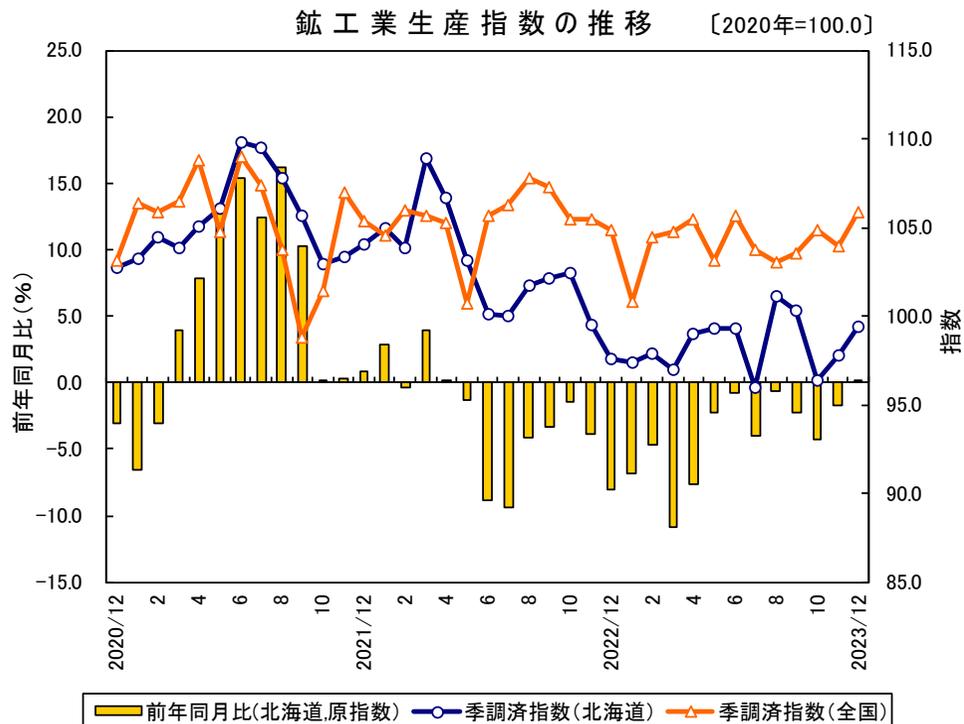
上方修正 据え置き 下方修正

生産活動 ～ 一進一退の動きとなっている ～

12月の鉱工業生産は、前月比+1.6%と2か月連続で上昇した。前年同月比は+0.2%と20か月ぶりに上昇した。上昇業種は、化学・石油石炭製品工業など6業種となった。低下業種は、鉄鋼・非鉄金属工業など6業種となった。

| | |
|---------|------------------|
| ＜12月＞ | |
| 季節調整済指数 | |
| 北海道（速報） | 99.4（前月比+ 1.6%） |
| 全国（速報） | 105.9（前月比+ 1.8%） |

| | 業 種 | 前月比 (%) | 前年同月比 (%) | 主な品目 |
|-----------|--------------|---------|-----------|-----------|
| 上昇 6業種 | 化学・石油石炭製品工業 | + 18.0 | + 21.1 | 化学・石油石炭製品 |
| | パルプ・紙・紙加工品工業 | + 4.5 | ▲ 9.5 | 洋紙 |
| | 食料品工業 | + 0.6 | + 0.6 | 脱脂粉乳 |
| 低下 6業種 | 鉄鋼・非鉄金属工業 | ▲ 10.9 | ▲ 1.6 | 鋼材 |



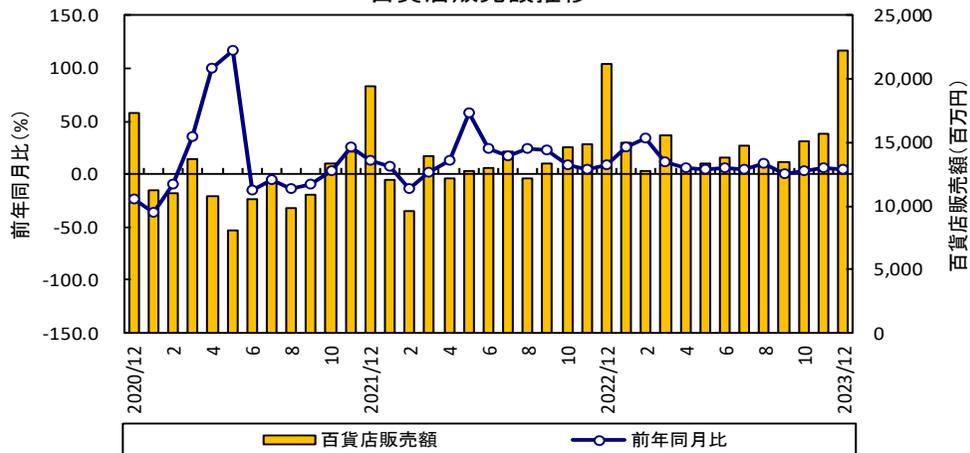
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

個人消費 ～ 緩やかに改善している ～

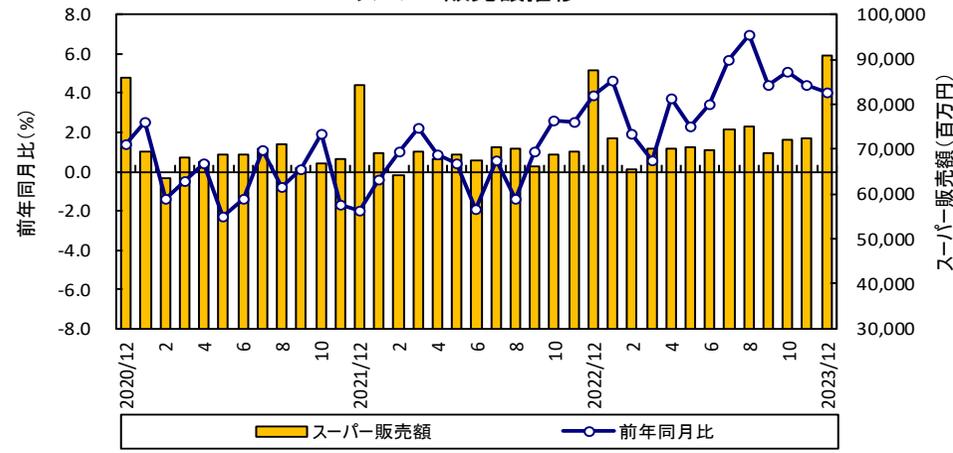
12月の個人消費は、ホームセンターが前年を下回ったものの、他の6業態は前年を上回った。

- 百貨店は、衣料品や化粧品の売上げが好調で、前年同月比+4.9%と22か月連続で前年を上回った。
- スーパーは、値上げの影響と年末商戦から飲食料品の売上げが増加し、同+4.0%と16か月連続で前年を上回った。
- コンビニエンスストアは、同+2.9%と26か月連続で前年を上回った。

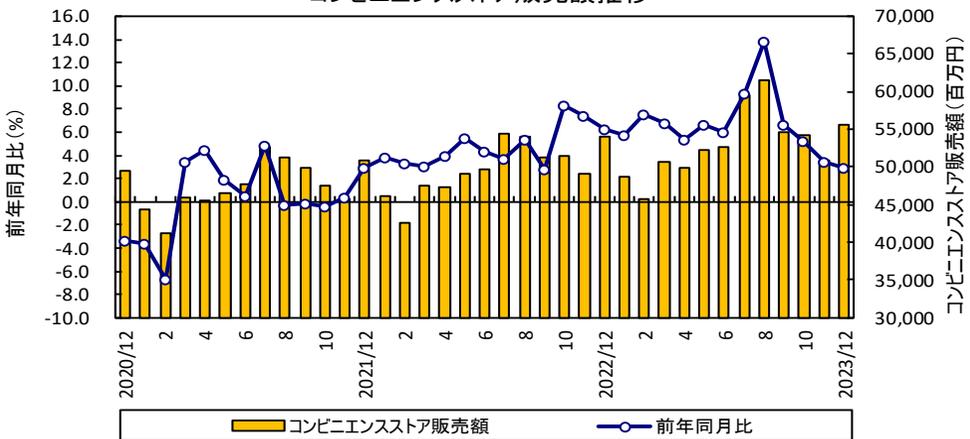
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移

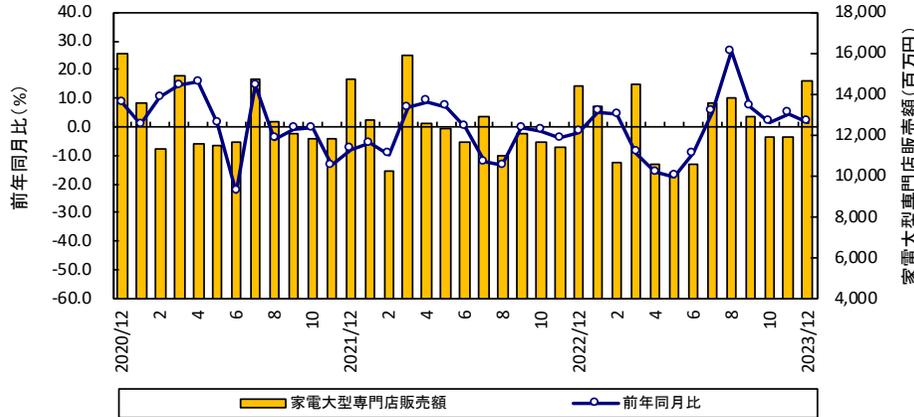


【ヒアリング内容】

- 先月に引き続き、コートなど冬物衣料や防寒関連商品がよく売れた。また、インバウンド向けやギフト需要で、真珠やバッグなど高級ブランドの商品や化粧品の売上げが好調だった。(百貨店)
- 鍋物関連商品の売上げの好調が続いているほか、年末年始の贅沢志向に加え、値ごろ感があるホタテなど貝類や柵の刺身の売上げが良かった。また、値上げの影響で全体の売上げは増加したものの、乳製品や食用油、冷凍食品などは買上点数が前年を下回った。(スーパー)
- クリスマスケーキは小型の商品の売上げが好調で、売上げ、販売数量ともに前年を上回った。一方で、高齢層では買上点数の減少が続いているほか、若年層では値上げした店内調理のファストフードの購入頻度が低下した。(コンビニエンスストア)

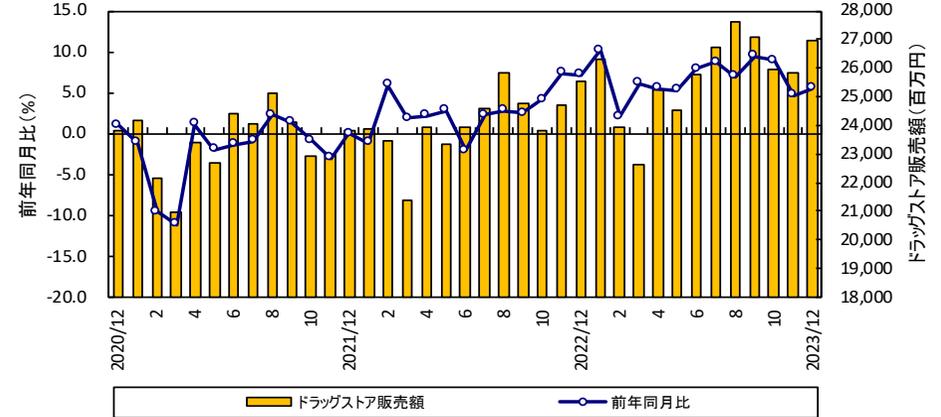
- ・家電大型専門店は、同+1.8%と6か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同+5.5%と18か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同▲7.1%と2か月ぶりに前年を下回った。
- ・新車販売は、同+6.9%と5か月連続で前年を上回った。

家電大型専門店販売額推移



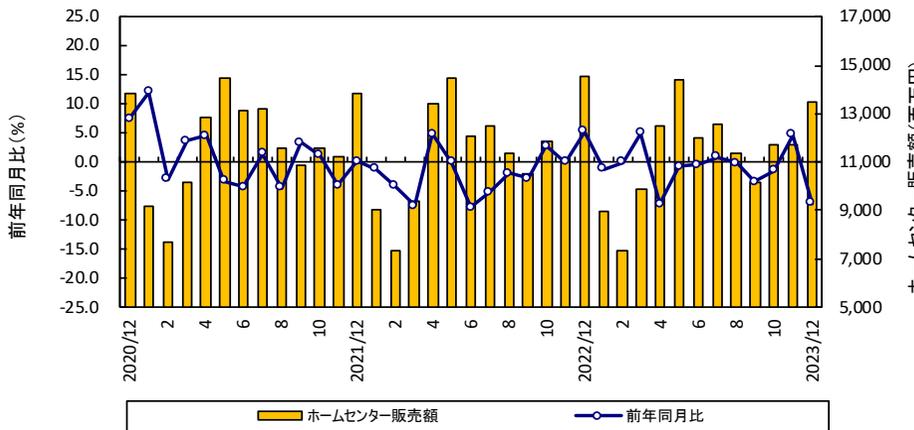
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

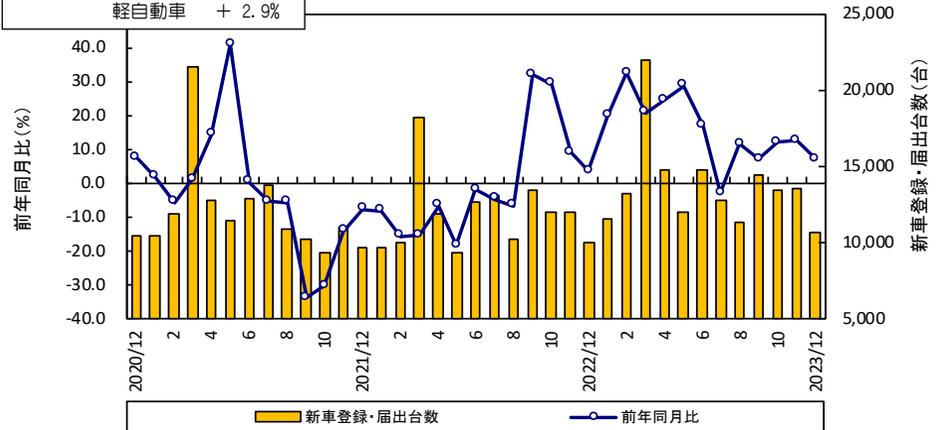
ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

<12月> 普通乗用車 +11.2%
小型乗用車 +5.6%
軽自動車 +2.9%

新車登録・届出台数推移



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

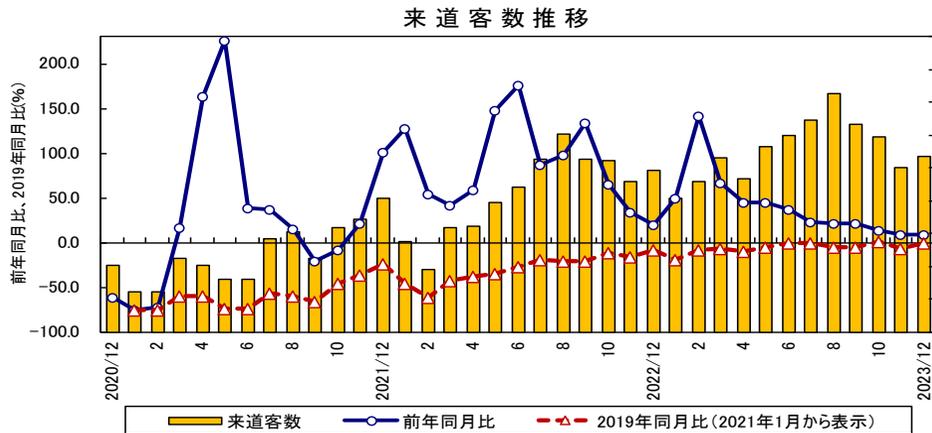
【ヒアリング内容】

- ・来夏も見据えた購入が続くエアコンと、駆け込み需要のあったスマートフォンが売上げを牽引した。気温の低下から、寒冷地用のエアコンの販売割合が前月よりやや増加した。また、乾燥シーズンに入り加湿器の売上げが良かったほか、カメラの売上げが年末年始の旅行需要からか伸長した。(家電大型専門店)
- ・インフルエンザの流行から調剤薬局の売上げ、処方箋枚数、単価いずれも前年を上回ったほか、アジアコスメなどの売上げが好調だった。(ドラッグストア)
- ・売上げ、客数、客単価いずれも前年を下回った。また、除雪用品や防寒衣料など雪に関連する商品の売上げが前年を下回った。(ホームセンター)

観光 ～ 改善している ～

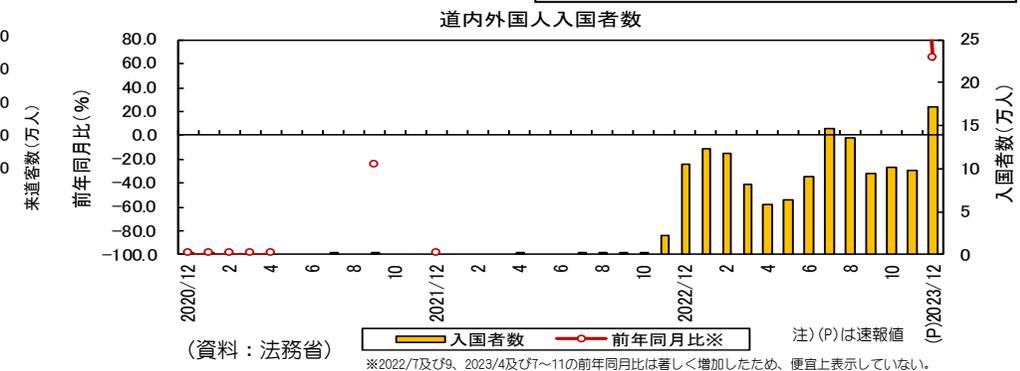
1 2月の来道客数は、前年同月比+8.5%（2019年同月比▲0.5%）と26か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、同+63.5%と18か月連続で前年を上回った。

< 1 2月 > 入国者数 171,804人 (+63.5%)



< 1 2月 > 来道客数 1,066,569人 (+8.5%)
 ※北海道外から航空機（国内線）、JR（北海道新幹線）、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

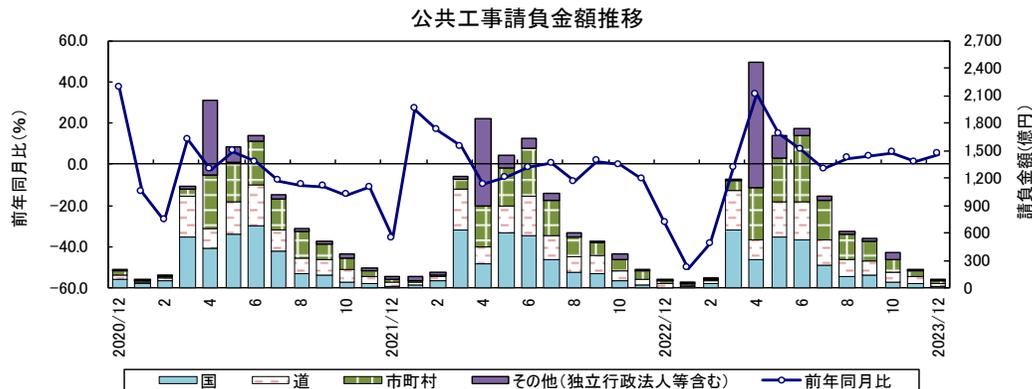
(資料：(公社)北海道観光振興機構)



・1 2月は、年末から年始にかけて国内客の入込みは多かったものの、当月全体としては落ち着いた印象だった。一方で、外国人観光客の入込みは好調で、東アジアを中心に個人客や団体ツアー客が多く、どの宿泊施設も忙しい状況が続いた。1月は、欧米からの小グループのスキーヤーやスノーボーダーをみかけるようになったが、同じ宿泊施設に3～4日滞在し、そこを拠点にレンタカーやバスを使って、近隣町村のスキー場を行き来する姿もみられた。(観光協会)

公共工事 ～ 増加した ～

1 2月の公共工事請負金額は、道は前年を下回ったが、国、市町村は前年を上回り、前年同月比+4.7%と5か月連続で前年を上回った。



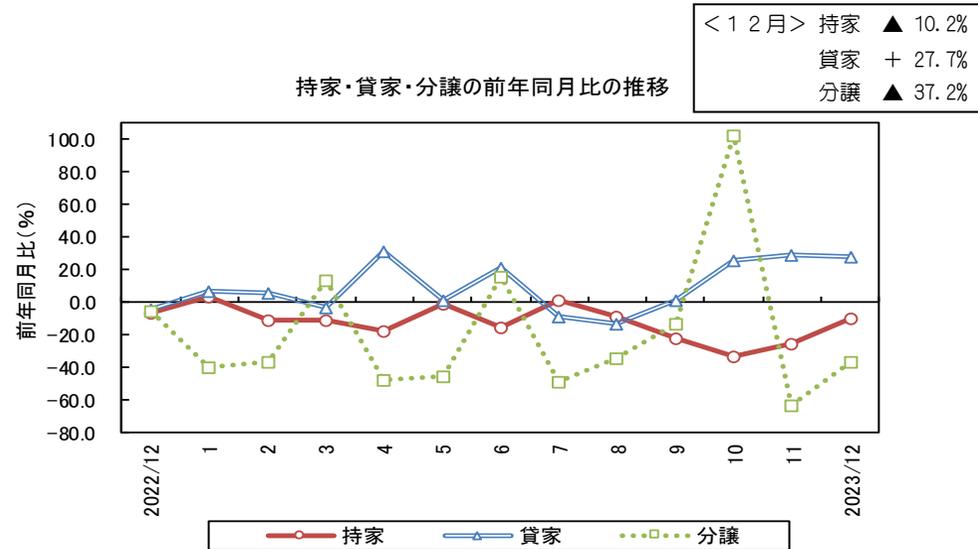
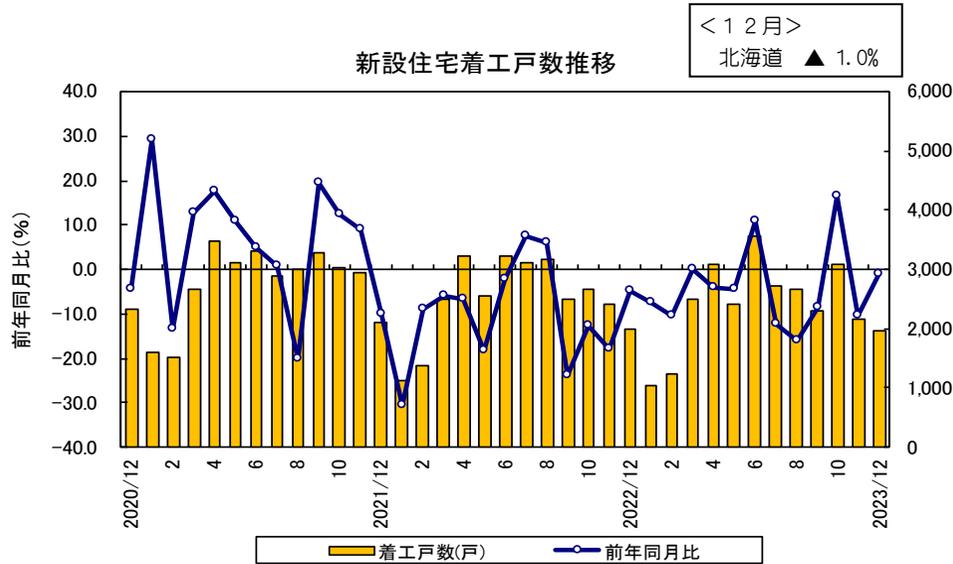
< 1 2月 >
 北海道 + 4.7%
 (内訳)
 国 +176.8% 道 ▲23.4% 市町村 +23.0% その他 + 2.3%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

住宅建設 ～ 弱い動きとなっている ～

12月の新設住宅着工戸数は、貸家は前年を上回ったが、持家、分譲は前年を下回り、前年同月比▲1.0%と2か月連続で前年を下回った。



(資料：国土交通省)

民間設備投資 ～ 増加している ～

2023年度の設備投資計画は、全体で前年度比+2.6%と2年連続で前年度を上回った。

日銀短観の設備投資動向

2023年12月13日発表

| | 2022年度 | 2023年度 |
|------|---------|---------|
| 北海道 | + 11.3% | + 2.6% |
| 製造業 | + 25.6% | + 32.9% |
| 非製造業 | + 6.8% | ▲ 8.4% |
| 全国 | + 9.2% | + 12.8% |

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2023年12月11日発表

| | 2022年度 | 2023年度 |
|------|---------|---------|
| 全産業 | + 26.0% | ▲ 9.4% |
| 製造業 | + 34.7% | + 15.5% |
| 非製造業 | + 24.0% | ▲ 15.8% |

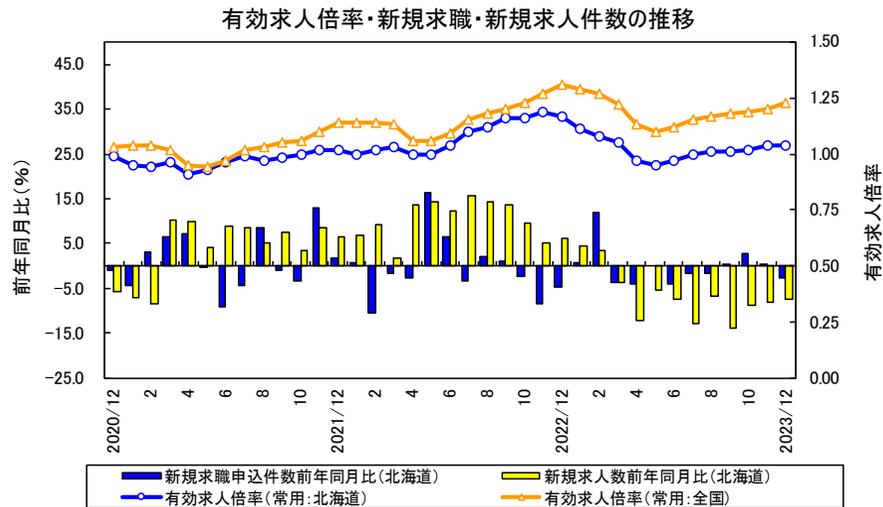
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

雇用動向 ～ 弱含んでいる ～

1 2月の有効求人倍率は、1.04倍と前年同月差0.13ポイント低下し、9か月連続で前年を下回った。

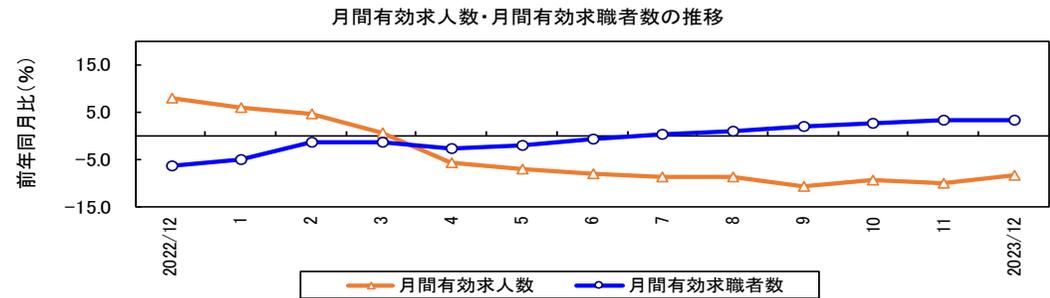


< 1 2月 >

| | | |
|-----|-----------------|--------|
| 北海道 | 有効求人倍率(常用) | 1.04倍 |
| | 新規求人件数(前年同月比) | ▲ 7.5% |
| | 新規求職申込件数(前年同月比) | ▲ 2.6% |
| 全国 | 有効求人倍率(常用) | 1.23倍 |

< 1 2月 >

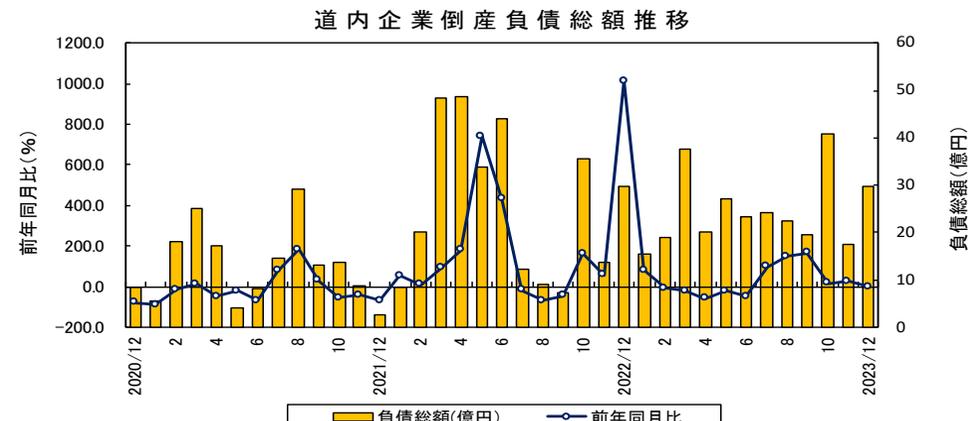
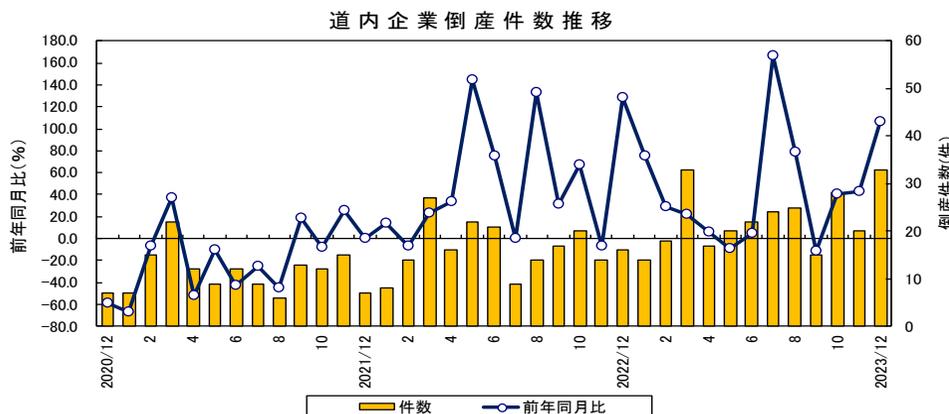
| | |
|-----------------|--------|
| 月間有効求人件数(前年同月比) | ▲ 8.3% |
| 月間有効求職者数(前年同月比) | + 3.3% |



(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

企業倒産 ～ 件数、負債総額とも増加した ～

1 2月の倒産件数は33件で、前年同月比+106.3% (17件増) と3か月連続で前年を上回った。また、負債総額は29.7億円で、同+0.03%と6か月連続で前年を上回った。



(資料: (株)東京商工リサーチ)